

か み

議 会 だ よ り

6月定例会 第10号

平成19年7月26日発行
発行 兵庫県香美町議会
編集 議会広報特別委員会
電話 0796-36-1963
<http://www.town.mikata-kami.lg.jp/>

— CONTENTS —

- 後期 議会構成決まる 2～3
- 国保税率20年度から3区均一に 4
- 住民の声 届くか（12人が一般質問） 8～13
- この人 ここにあり 16



がんばってー!!（みかた残酷マラソン）

第二代議長に森 利秋氏

副議長は、寺川秀志氏

議長あいさつ

森 利 秋

を最終的に決定すること。

5月29日の議会において香美町議会第二代の議長に就任致しました。もとより浅学非才をかえりみまして、責任の重大さを一層痛感いたしましたしておりますが、私なりに香美町議会の代表者として、香美町の発展と町民福祉の向上そして議会の円滑な運営のため、懸命の努力をいたす覚悟でございます。橘前議長同様のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

「議員をお使い下さい」

さて、5月臨時議会で後期2年間の議会構成が決まりました。町民の皆様には議員をよくご承知頂きたく存じます。

「議会の使命について」であります。

議会の使命は次の二つとされています。

第一は、町の具体的政策

副議長あいさつ

寺 川 秀 志

この度、役員改選にあたり議員の方々の力強いご推挙を受け、副議長に就任いたしました。身に余る光栄とともに責任の重さを痛感しています。

森議長の補佐役として、議会の活性化と融和に努めたいと思います。

さて、香美町も合併して2年が経過しました。少しずつではありますが一体感の醸成がはかれてきたと



総務常任委員会

総務部、地域局（他の委員会に属するものは除く）会計課、監査委員、選挙管理委員会、固定資産評価委員会、他の常任委員会に属さない事務の所管に関する事項を調査、審査します。主に、財政、企画、税など町の基幹に関する仕事を受け持ちます。

委員長 山本 賢司
副委員長 吉田 範明
委員 寺川 秀志
浜上 勇人
長瀬 幸夫
今西 美憲



文教民生常任委員会

健康福祉部、地域局（他の委員会に属するものは除く）病院、教育委員会所管に関する事項を調査、審査します。

主に、健康、福祉、年金、消防、環境、教育など町民の身近な仕事を受け持ちます。



委員長
副委員長
委員

西坂 秀美
古岡 菊雄
白岩 安喜夫
上田 勝幸
小林 利明
川端 政明

産業建設常任委員会

産業部、建設部、地域局（他の委員会に属するものは除く）農業委員会に関する事項を調査、審査します。

主に、農林水産業、観光、商工、建設など、まちづくりの基本となる仕事を受け持ちます。



委員長
副委員長
委員

吉田 増夫
西川 誠一
柴田 幸一郎
後垣 晶一
西村 伸一
岡田 公男
橘 秀夫

議会運営委員会

議会の運営に関する事項、議長の諮問に関する事項、議会の会議規則、委員会条例等に関する事項を調査、審査します。

また、会期日程、各議案請願等の取り扱いなど議会運営全般の基本的事項について調査します。



委員長
副委員長
委員

今西 美憲
西村 伸一
山本 賢司
寺川 秀志
吉田 増夫
西坂 秀美
小林 利明

一部事務組合等議会

○美方郡広域事務組合

西川 誠一
古岡 菊雄
吉田 増夫
岡田 公男
上田 勝幸
森 利秋

○八鹿病院組合

寺川 秀志
白岩 安喜夫
西坂 秀美
森 利秋

○北但行政事務組合

山本 賢司
柴田 幸一郎
後垣 晶一
長瀬 幸夫

○但馬広域事務組合

森 利秋

今年度の国保税率決まる

来年度から香美町均一税率



元気はつらつ

国民健康保険税の基礎課税限度額と

税率の改正を可決しました。

改正の内容

- ① 国民健康保険税の基礎課税（医療分）限度額を53万円から56万円に改正
- ② 国民健康保険税の税率の改正
- ③ 低所得者に対する国民健康保険税の軽減額の改正

質疑

問 基金の残高はどうなっているのか

答 3区合計で、平成19年度末には3億1千830万円、平成20年度末には5千万円を想定しています。
お互い譲り合い、全町的な観点から対応していきます。

全員賛成で

可決しました

平成19年度国民健康保険税率等の改正案表（医療分）

区 分		合併前の香住町の区域		合併前の村岡町の区域		合併前の美方町の区域	
		現 行	改正案	現 行	改正案	現 行	改正案
所得割	(総所得金額-基礎控除額33万円)×税率	6.14%	6.69%	5.83%	6.54%	6.31%	6.78%
資産割	土地・家屋に係る固定資産税額×税率	23.16%	22.80%	21.04%	21.74%	25.10%	23.77%
均等割	加入者一人に対し定額	25,670円	24,590円	19,090円	21,300円	21,620円	22,560円
平等割	一世帯に対し定額	25,190円	23,400円	18,450円	20,030円	19,190円	20,400円

モデル世帯における国保税額（医療分）

香美町全体の標準世帯 ●被保険者数 2人 ●所得額 94万円 ●固定資産税額 69,000円

合併前の香住町の区域		合併前の村岡町の区域		合併前の美方町の区域	
現 行	改正案	現 行	改正案	現 行	改正案
150,200円	151,100円	125,900円	139,100円	139,000円	145,600円

条例改正

地方税法の改正に伴う

町条例の一部改正が

提案されました。

個人町民税関係

公共の用に供する特定の居住用財産ならびに優良住宅地の造成等のために、家を買換えたり、土地を譲渡したりした場合の長期譲渡所得、譲渡損失の課税の特例措置を2年ないし3年延長するというもの

質疑

問 優遇されている住民はどの位いるか

答 現在のところ町内には該当者はいません。

問 だれのための制度か。

答 資産家のための制度かそれとも住民のためになる制度か

答 今まである制度を税体系全体の中で、2～3年延長するもので妥当な制度であります。

反対討論

山本 賢司

今ある制度の延長で資産家を優遇するだけだ。断じて認められない。

賛成討論

今西 美憲

全ての国民が、土地・建物処分する時、恩恵を受ける。当町にとつても一例だが山手開発の処分の件でも必要な制度である。

賛成多数で

可決しました

国民健康保険税関係

今回の改正の主な内容は、70歳から74歳までの者の医療負担を1割から2割に増額するというもの

質疑

問 就学前まで拡大することとで保険者(町)の負担は。又、70歳以上の者の場合は

答 乳幼児の場合は保険者(町)として100万円の場合。70歳以上の者の場合は3800万円の減です。

反対討論

山本 賢司

年金の給付の方は減り、医療での出費がかさむ。今でさえ高齢者は、全体として生活が苦しいのに、どうやって生きていけというのか。負担増は回避すべきである。

賛成多数で

可決しました

両条例とも施行期日は平成20年4月1日です。

●香美町介護保険条例の一部を改正する条例

香美町介護認定審査会委員の負担軽減のため、委員の増員を図ることとして、委員の定数、14人を20人以内に改めるもの

全員賛成で可決しました



税負担変わる(本庁窓口)

香美町過疎地域 自立促進計画を変更しました

【提案理由】

過疎対策事業推進のため、香美町過疎地域自立促進計画を変更し、総合的かつ計画的に過疎対策を行うものです。
※財源に過疎債を使用するための措置です。



小代医師住宅建築予定地付近

事業名	(1) 市町村道道路 無南垣訓谷線(改良舗装)
事業内容	無南垣訓谷間の路面の舗装が荒れており、大型バスが通行する時には、道路の振動が激しく付近の住民から悪影響を指摘されていたため改良舗装します。
事業名	(2) その他 医師住宅整備(小代診療所医師住宅)
事業内容	建築から25年が経ち建物のいたみがひどくなりました。また当初4人家族でありましたが、6人になり手狭になったため新たに別の場所に建築します。 なお、現在の住宅は用途変更で対応します。

質疑

問 この時期の計画変更はよく分からない

答 計画的に促進しなければなりません、緊急性が発生することもありますので、計画の変更はその都度提案します。

問 町政を計画的に進めているといえるのか

答 随時計画を入れていきますので理解願います。

問 将来的な計画ではない何のための計画か 目先のことはいいか

答 向こう五年間考えられるものを計画しましたが、状況の変化で緊急性、必要性がありましたので追加しました。

今後の計画を点検したいと思います。

賛成多数で

可決しました

補正予算

6月定例会での補正予算は、一般会計と2特別会計の3議案が提案され、一般会計では温泉保養館費等が提案されました。
3議案とも原案どおり可決しました

質疑

● 障害者自立支援システム開発委託料
問 どのようなシステムの開発か

答 10月から国保連合会へ請求するためのソフトの開発です。

● 道の駅ハチ北指定管理料
問 指定管理料減額の理由は

答 いままでは、国交省からトイレ清掃業務委託料が道の駅ハチ北へ支払われていましたが、下水道への接続により直接下水道会計へ支払われるようになりました。

● おじろん(温泉保養館)一般経常費

問 嘱託職員賃金の減額はなぜか

答 赤字縮小のため嘱託職員を配置換えして臨時職員を雇用しました。そのため人件費が削減できました。



道の駅 ハチ北

請負契約

6月定例会では、請負契約2議案が提案され、それぞれ可決しました。

町道市原黒田線道路災害復旧工事

契約の相手方

石井 建材(株)

請負金額

1億185万円

提案理由

平成19年1月26日発生 of 地すべりにより、被災した箇所 of 早期復旧を図るため

問 工事にすぐ着手し11月末には通行できるか

答 11月末には一部の通行ができるようにし、完全復旧は3月末までに行います。



災害復旧現場 (宿地内)

問 二次災害、三次災害の心配はないか

答 二次災害、三次災害が発生しないか調査を行ってるところです。

問 落札率は、希望価格、見積価格に対して何%か

答 97%です。

問 落札率が高いが、入札の改善はされたか

答 標準設計単価で設計しているので入札は適正に行われています。

町道野間谷線道路改良工事 (その3)

契約の相手方

(株) 大興業

請負金額

6千405万円

提案理由

昨年整備した町道野間谷線道路改良工事(その2)に引き続き生活道路の整備のため

問 町道野間谷線と段ノ平線との取り合いは急カーブとなっており、冬期間にスリップ等の事故の心配はないか。又、地域住民との合意形成はできているか

答 コンクリート舗装で、

すべり止めをするので心配はありません。又、カーブ付近は踊り場を設けて回りやすくしています。地区住民と協議して現在の設計をしています。

問 現町道八田線のバイパスが低くなり、車庫、事務所等への出入口に高低差がつくことにより、所有者との交渉ができず繰越となっているがどうか

答 所有者との交渉は近々成約します。

問 落札率は何%か

答 96・7%です。

問 482号線との交差があるがその部分の工事完成はいつになるのか

答 482号線との交差を含め西側は11月末には完成予定です。

問 482号線との交差があるがその部分の工事完成はいつになるのか

答 482号線との交差を含め西側は11月末には完成予定です。



臨時議会

議 会

5月15日に、臨時議会が開かれ、次の案件を慎重に審査し、全議案を可決しました。

一、専決処分をしたもの

ア、税条例の一部を改正する条例

イ、平成18年度一般会計補正予算(第9号)

ウ、平成18年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第6号)

二、町道香住港湾線自歩道整備工事請負契約締結

三、特別職で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

四、香美町消防団員等公務災害補償条例の改正

五、町道の路線を認定及び廃止することについて

六、平成19年度一般会計補正予算(第1号)

町道香住港湾線自歩道整備工事請負契約

契約の相手方

(資) 中村組

請負金額

6千720万円

提案理由

整備中の町道香住港湾線自歩道整備工事(2工区)に引き続き自歩道の整備促進のため

問 2工区の整備のとき、地域全体のまちづくりを考

えていくということだったが今回の3工区にどのような配慮がなされているか

答 商店、人家等の側は3メートルを3・5メートル



香住港湾線自歩道整備工事

に変更し、車幅も広げて停車帯をつくり、出入がしやすいようにしています。

問 この自歩道の工事をするにあたり水産加工業者等との緊密な話をしたか

答 平成17年4月、5月に地権者と香住区住民に説明しました。今年5月に具体的な内容説明をしました。

問 関係者との話し合いが遅いのではないか

答 対応が遅い点は反省しています。商店等については入り口の幅とか要望にお応えしながら対応していきます。

町政を問う

6月定例会での一般質問は、6月11日と13日に
12名の議員が町政全般について質問を行いました。
質問と答弁の要旨は次のとおりです。



各区での防災意識の高揚を



どうするこの泉源

本年4月20日の夕方、下
浜で起きた火災は民家など



寺川 秀志 議員

地域の防災は大丈夫か 全町的な対策を強化していきたい

8棟を焼く大惨事となった。
今後、施設の点検はもち
ろん、地域での更なる防災
意識の高揚が喫緊の課題で
ある。つぎの質問に対して
町長の所見を伺う
一、防火水槽の新設と点検
二、防災マップ制作に対す
る支援

町長 ●防火水槽は、
50基ぐらい足りませんので
早急に整備を進めていきま
す。

三、行政無線の点検と整備
四、地域での防災訓練との
連携等、どのように考えて
いるか

●各区の防災マップの必要
性は非常に高いですので啓
蒙と指導を行っていきます。
●行政無線は、消防署と連
携して点検やマニュアルづ
くりを行い、バックアップ
のシステムも作りました。
●防災訓練は、火災が発生
した場合の避難訓練も含め
た消火活動の必要から区長、
自治会長会議で提案し、9
月に全町的な訓練をします。



岡田 公男 議員

原地区の泉源をどうするのか 活用の検討を続ける

旧村岡町で平成5年度よ
り調査を始めて、下射添地
区温泉開発事業として取り
組みされて、平成11年11月
30日工事完了の泉源は現在
活用されないまま休眠状態

町長 射添地区の人口
減少がほかの地区より度合
いが高い、この地区の活力
活性化を図る対応として温
泉で多くの交流人を呼び込

であると思う。そこでこの
事業の当初計画の目的は休
眠状態となつている事由は
新町（香美町）への引き継
ぎ状況は現状のまま放置す
るのか、今後の取り組みは
どのように考えているのか

みたいと泉源を開発、温浴
施設として検討された経緯
があります。旧村岡町の財
政状況が厳しく、そのまま
であり大きな課題として引
継ぎましたが現在休眠状態
に置いている状況です。配
湯事業、民間活用していた
だけなのか、多額を投資し
た泉源であります。今後の
活用について検討を続けて
まいります。



全員参加で農地保全を



厳しい水産業界

現在の水産業界の現状をどう思う 大変厳しい状況と認識している



西川 誠一 議員

現在の水産業界は、大変
厳しい状況にあるが、

①水産担当の職員は二人で十分か
②町長は香美町の「トップセールスマン」であるべきだと思うが
③地域名と産物を合わせた、「地域ブランド」の商品登録を積極的にすすめるべきと思うが

④「食育」に対する町の取り組みは
町長 ①決して多いとは思っていません。また、現地に向く事も積極的にやっています。
②機会があるたびに香美町の商品を理解してもらう努

力をします。
③香美町の商品を積極的にPRする努力をしています。
④魚食普及のために「お魚を普及する会」を立ち上げ、栄養士と共に小学生に魚のさばき方や食べ方を指導したりしています。

農政の大改革をどう考えるか 急転換だが国の政策を進める



柴田幸一郎 議員

①品目横断的経営安定対策とは
②農地・水・環境保全向上対策とは
③①②の対策は「車の両輪」に位置付ける理由

④昨年10月区長・農会長に「農地・水・環境保全向上対策」を説明したが、応募の結果を問う
⑤高齢化の進行で遊休土地・耕作放棄地も増加だが、担い手対策・農業委員会の指導が不可欠と考えるが
町長 ①担い手・集落営農組織を中心に国の支援を活用、強い農家を育成します。

②地域（集落）における農地・水・環境保全向上を地域ぐるみでの取り組みに補助金を出す政策です。
③品目横断・農地・水・環境対策・米の生産調整の3つからの対策です。
④香住区11地区・村岡区5地区の応募でした。
⑤担い手に対して農地の利用集積の促進を農業委員会に積極的に取り組むようお願いしています。



救世主となれるか、3階病棟



運動施設 おじろドーム

小代区の最重点事業はいつ実施か 一日も早い実現に向けて努力する



古岡 菊雄 議員

合併時の約束事である小代区の最重点事業の中で、

グラウンドゴルフ場の建設は進んでいるが、メインの温水プール等は赤字が見込まれるとの事で断念し、代替案を地域協議会に意見を求めている。代替案は既存施設の改修やリニューアルとの事であるが、その案にも問題があるとの事で進展

していない。小代区の最重点課題事業はいつ予算化し実施するのか。約束は守れるか、町長の所見を問う

町長 温水プール等の代替案として、一つは、おじろんのリニューアル。二つ目は、旧小代中学校体育

館を撤去してグラウンドゴルフ場の駐車場にする。三つ目は、おじろドームの雨漏りの修理の三点の意見の報告を受けております。体育館の撤去、おじろドームの改修は年内には実施したい。おじろんのリニューアルは今後の活用を含め地域協議会に検討してもらうと共に、一日も早い実現に向けて努力します。

香住病院、町民の意識改革は

町民と行政が同じ土俵で協議



西坂 秀美 議員

本町の2つの公立病院が抱える医師不足・地域医療体制の確保は、今や全国の課題。比較すると決して医師数だけの問題ではなく行政が果たさなければなら

いことがある。香住病院の経営改善は、行政の役割である。住民が自分たちの医療機関を大切にしているのか。医師と患者の信頼関係は。地域の医療を守るも、なくするも住民の双肩にかかっている。住民の意識改革をどう考えているのか

町長 町民が病院を大事にする利用を進めることは大きな役割だと思います。

香住病院も、批判をするだけでなく、町民の皆さんも自分たちの病院を守ろうとの気持ちはあります。組織的な対応には至っておりません。この際、範囲を広げる必要性を感じております。特に、香住病院の場合には町民の医療に対する要望にこたえること・財政的な病院経営の健全化の2つの課題に積極的に取り組めます。



もっと利用を

但馬の医療対策協議会の
協議内容の実施が村岡病院



白岩安喜夫 議員

だけが5月1日になったが、なぜこのような結果になったのか。
香住病院の関係では、町長は医師不足が原因で医療収益が減ると言うが、18年度入院患者の比較をしても村岡病院の方が多くなっている。資料では香住区の皆

町長 10月1日が一つの約束事でした。県の医師派遣の人事の関係で少し早くしたいという話がありま

した。住民の皆さんへの影響は、今のところ出ていないと思います。香住病院の問題については、香住地域と豊岡との時間距離や医療対応の整備状況によって住民の皆さんが豊岡病院を選択される部分も出ています。香住病院の診療科と対応状況について、町民の皆さんに正しい情報提供をします。

香美町の医療行政を問う 正しい情報提供をします



放置されたテレビなど



長瀬 幸夫 議員

香美町の将来像は「美しい山・川・海 人が躍動する交流と共生のまち」とうたわれ表紙を飾っている。
一、矢田川水系の水は年々良くなっているか。二、湯

町長 矢田川は合併前から旧三町の母なる川として取り組んでおります。

一、水質の問題は県と町と但馬西部河川環境保全協議会の三者で調査しているが環境基準を下回る数値であります。二、川まつりは実行委員会です自主的に判断を頂きたいと思います。三、環境問題以外の川の藻とか色々な影響を調査し監視をします。四、重点的なパトリールを行い不法投棄ができない知恵を出したいと思っています。

川等の環境対策はどうなっているのか 水質をよくする町民運動を展開



減りすぎてこまります

少子高齢化は急激な勢いで進行している。香住小学



浜上 勇人 議員

校も来年度には、とうとう児童数が500人を割るとの予測がある。村岡区では、中学校の統合について議論が進みつつあるが、香住区でも小・中学校の今後のあり方を長期的な視野に立って検討する時期と思う。行政、学校、PTA、地域の

町長 香住小学校の生徒数について指摘がありました。今年度は520人、17学級が来年度には475人、16学級になります。5

年後には408人と予測しています。小規模な学校がデメリットばかりではないと思います。ある一定の状況までくると、統合という問題が避けて通れないと思います。しかし、通学対応や、地域の人達の気持ちなど難しい問題があります。第一義的には地域の皆さんにご判断を頂くことが必要だと思います。

香住区の小中学校の統合再編は？ 地域の皆さんの判断が必要です



活力あるまちづくりを



山本 賢司 議員

町長は、税源移譲で町財政の自由度は高まると言っていたが、町単独事業は切り捨て、住民負担増ばかりである。更に交付税が減る、合併協議会では、三年間特

町長 使途の決まって別交付税が上乗せされると言ってきたが、特交が減るから大変だと言う。

いる補助金を減らし、自主財源の住民税へ回すことで町財政の自由度は増すが、新たな仕事が増えて財源が必要となります。特交は減るから対応はしなければなりません。定率減税廃止は、10%税負担は増えるが、減税はなくなった、ということ。町として、行財政全般を総合的に考えて財政運営を行っていきます。

町単独施策でまちづくりを 仕事が増えて財政は大変になる



近づく台風シーズンに不安



改修された射添小学校

町有施設の耐震強度は大丈夫か 強度不足の改修は27年をメドに



後垣 晶一 議員

災害は忘れた頃にやってくる、惨事は未然に防ぐも

の。ところで文部科学省は全国の小中学校の35%が、震度6強の耐震基準を満たしていない建物だと、調査結果を発表した。我が香美町においても小中学校18校、47棟のうち30棟(63%)が昭和56年以前の施設であり、早い時期に補修をしないと

のことだが、今後の対応について町長の所見を問う

町長 学校以外の施設

で56年以前に建築されたものが55棟、中でもその内4棟は早く対応したい。学校関係では幼稚園、小学校、中学校合せて26校園、54棟

ありその中で耐震改修が必要な棟数は28、すなわち50%を超える状況にあります。文部科学省からは平成27年迄に改修を行うよう指導がきており、今後改修順位も含めて整理し、国への支援要望を一層強くしていく中で何としても平成27年までには対応できるよう努力します。

トンネル放水路計画の進捗状況は 放水先の矢田川から着手している



小林 利明 議員

森谷川、香住谷川沿線には、行政、学校、病院など災害時に最もその機能が求められる公の施設が隣接し、人家も集中している。治水対策として示されて

久しいトンネル放水路計画の取り組みに関係する住民の皆さんは大変不安に思い、対応に不信を募らせておられる。

現在の取り組み状況を住民に説明する考えは無いのか

町長 放水する矢田川

下流域の課題から先行して対応し、その後に関係区区长さんで構成する委員会の了解を経て香住地域の治水

対策を進めます。現在、島山を削る工事は18年度から設計に入り、20年度には着工の見通しです。また、美濃谷川の増水対策も、その方法を検討中で本年12月には大方の目途がつくと聞いています。

この間の町の応急措置を含めて、必要があれば、香住谷川、森谷川周辺住民の皆さんには、現在の取組み状況を説明します。

採 択 願 意 書 を 提 出

次期定数改善計画の実施と 義務教育費国庫負担制度の 2分の1復元と堅持に関する請願

請願者 兵庫県教職員組合 美方支部
支部長 日浦 智

〔請願事項〕

- 一、きめの細かい教育の実現のために、義務制第8次教職員定数改善計画を実施すること、また自然減を上回る教職員定数の削減を行うことなく、学級現場に必要な教職員の人員、人材を確保すること。
 - 二、義務教育費国庫負担制度について、国庫負担率を2分の1に復元する事を含め制度を堅持すること。
 - 三、学校施設整備費、就学援助、奨学金など、教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。
 - 四、教職員に人材を確保するため、教職員給与の財源を確保拡充すること。
- ※右記事項について政府等関係機関に対して意見書を提出する。

文教民生常任委員会に付託

◎本会議にて文教民生常任委員長より審査報告があり、委員会では紹介議員より意見聴取を行ない説明を受け質疑を行ったとの説明があり、

委員会での採決

全員賛成で採決

本会議での採決

全員賛成で採決

有害鳥獣対策の抜本強化を求める意見書

近年有害鳥獣の生息分布の拡大、増加とともに農林業者の高齢化等に伴って、野生鳥獣による農林業被害が深刻化しており、農林業者が営農の意欲を失い農村の過疎化をさらに加速化させている極めて深刻な状況となっています。本町においては、特にサルの群れの生息とツキノワグマの人家への出没により農林業被害はもとより、人的被害も懸念される状況になっています。については被害の深刻化広域化に対応して有害鳥獣対策を抜本的に強化されるよう次のとおり要請します。

記

- 一、生息数等の確な把握に基づく対策
- 二、被害防止対策に対する支援
- 三、捕獲に関する規制緩和
- 四、専門家の育成・確保
- 五、財政負担の軽減
- 六、人と野生鳥獣の棲み分け

◎産業建設常任委員長より本会議にて委員会審議の説明があり、質疑のあと、全員賛成でこの意見書を内閣総理大臣はじめ衆参議長、各関係大臣に提出する事を決議いたしました。



人権擁護委員



香美町小代区貫田207番地
た 尻 い っ こ
田 尻 伊 都 子 氏

人権擁護委員として長きにわたりお世話になりました山本治平氏（小代区）の任期が、平成19年9月30日をもって満了となります。ありがとうございます。新たに田尻伊都子氏（小代区）の推薦に同意しました。ご活躍を期待します。



香美町こども議会

～将来の香美町のために 私たちの意見・発想を～

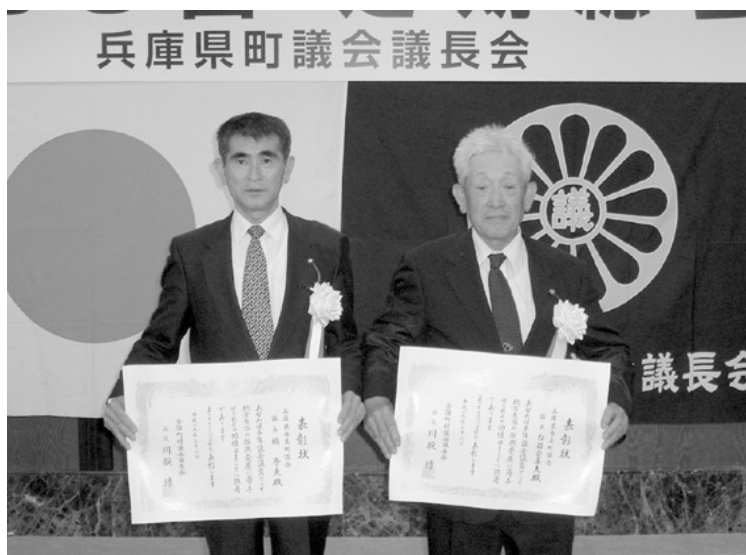
この夏 子どもたちが
ふるさと香美町を
熱く語る！

と き 平成19年8月11日(土)
午後1時30分～午後5時10分
ところ 香美町役場4階 議 場

「こども議員」(町内小・中学生)が町政の課題について、町長や教育長に質問をなげかけます。
自分の住む地域のことなど、身近な問題や意見等を一般質問を通して、将来の香美町づくりに役立ちます！
多くの皆さんの傍聴をお待ちしております。

こども議会議員

小代中学校 3年 橋本 博子	射添中学校 3年 中村 菜	兎塚中学校 3年 西口 和則	村岡中学校 3年 長戸 雄大	香住第二中学校 3年 米田 智裕	香住第一中学校 3年 小椋 紗織	小代小学校 6年 大城 葵	射添小学校 6年 中島 美子	兎塚小学校 6年 黒田 莉奈	村岡小学校 6年 今岡 夏未	長井小学校 6年 中村 有沙	余部小学校 6年 中野 康浩	柴山小学校 6年 宮本 花穂	佐津小学校 6年 松下 朋由	奥佐津小学校 6年 中田 康介	香住小学校 6年 多田 桃子
----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	------------------------	------------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	----------------------



受賞された橋議員と白岩議員

全国町村議会議長会

自治功労者表彰を受賞

今年5月に開催された兵庫県町議会議長会総会において、議員15年以上在職者に贈られる全国町村議会議長会・自治功労者表彰の伝達が行われました。

本町議会からは、橘秀夫議員と白岩安喜夫議員の両名が表彰を受けました。

この人ここにあり

(小 代 区)



大会発足から関わり、第四回大会からは実行委員長を務められ、ご自身も現役のランナーとしてご活躍中の久保井洋次さんに聞きました。

参加者アンケートから

案内状の中に地元小学生の応援メッセージが毎年入っているのがとても嬉しく、大事に保存しています。給水所で、にこやかに応援しつつ水やオレンジの差出し、ゴール地点で、参加賞のシャツを渡してくれる揃いのジャージ姿の中学生、また大量のそうめんやひんやりとよく冷えたトマトを用意してくださる地元のお母さん達、毎年心から感謝しております。

自分は、3時間かけてやつと完走できる鈍足ランナーです。トップランナーが通り過ぎてから1時間以上も経過しているはずなのに、どこでも皆さんとても熱心に応援してください。子供たちや中学生スタッフの笑顔にも心が洗われます。日本中が忘れかけている地域連帯や、健全な子供を守り育てる町の意識が伝わってきます。できることならここで暮らしたい。そんな想いまで抱かせる素晴らしい町です。きつと来年もはるばる九州からやって来てお世話になります。

(北九州市在住の男性)

大会が終わった感想は

大会と同じ年に生まれた子が挑戦し、見事に完走したことに感激し、気持ちが15年前の原点に戻った気がしました。



大会発足のきっかけは

但馬の祭典のプレイベントにマラソン大会をしようと思った町長吉田二雄さんの発案でした。

私も近隣の大会参加を楽しんでいた時期だったのですぐに飛びつきました。

大会の特色は

インパクトのある名前と、ハードなコースに反する応援の多さ、「完走を目指して楽しんで下さい」との子供たちのメッセージ、このギャップが面白いと思います。

また、精一杯歓迎することによって喜ぶランナー達を見て、幸せだと感じる地区の人たちの無欲な歓迎、奉仕の真心がランナー達に心地よく伝わっていることだと思います。

続けてきてよかった点は

子供たちをはじめ多くの住民がランナーとの交流を続けていることです。

また、近年は「残酷で勝ちたい」を目標に、かなりのハイレベルな選手たちが集う大会になったことです。

苦労されている点は

補助金の削減です。しかし、本来走りたい人達が参加費を持ちより、その範囲内で運営することが望ましいと思います。今後も、継続できる体制作りをしたいと思っています。

ご自身も現役のランナーですが、マラソンの素晴らしさは

とても一言、二言では語れませんが、マラソンは完走した満足感、達成感だけでなく、たくさんの人達と出会えることによって力をもらい、人のやさしさや幸せな瞬間を感じることが出

来ます。私の場合は、マラソンを続けたおかげと思っています。

今後の抱負は

若い世代に熱心に協力をしてくれる人達がいます。個性豊かな残酷マラソンを理解していただき、バージョンアップした若返りを期待し計画中です。今後とも残酷マラソンへのご協力をよろしくお願い致します。



「みかた残酷マラソン全国大会」の豆知識

今年で15回目の開催となり、毎年、6月の第2日曜日に開催され、毎回千人を超すランナーが全国各地から集う、近畿有数の大会です。

編集後記

◇新生香美町が誕生し、三年目を迎えました。「三つ子の魂百まで」と言われますが、財政厳しい中で香美町の将来を決めていく正念場、まさにその年を迎えているのではないかと思います。

◇5月29日の臨時議会で議会構成が変わりました。議会広報特別委員会も新メンバーになり、広報「かみ議会だより」の発行に取り組むことになりました。町民の皆さんに親しんで頂ける紙面にと頑張りたいと思います。

◇紙面に対して、ご意見、ご要望がありましたら事務局の方にご一報を頂き皆さんと共に良い広報ができればこの上ない幸せに存じます。

編集発行責任者

議長 森

利秋

議会広報特別委員会

委員長 長瀬 幸夫
副委員長 上田 勝幸
委員 西川 誠一
西川 秀志
寺岡 菊雄
古岡 伸一
西村 範明
吉田 範明

(N)